

子宮頸がん予防ワクチン（サーバリックス®）を接種しましょう！

愛媛生協病院

子宮頸がん＝マザーキラー

日本では、1年間に約15,000人の女性が子宮頸ガンを発症し、毎年3,500人の女性が亡くなっています。子宮頸がんは、初期の段階では自覚症状がないために治療が遅れることが多いのです。特に、これから結婚や出産を迎える20～30歳代の若い女性に発症が急増していて、別名「マザーキラー」と呼ばれ、問題となっています。

発がん性ヒトパピローマウイルス

1983年に子宮頸がんの組織中にヒトパピローマウイルス（HPV）が発見され、HPVが子宮頸がんの原因ウイルスであることが判明しました。

HPVは人類と共存してきたウイルスで、多くの人が感染するウイルスであることが明らかになってきました。HPVは現在120種類以上が分離されていますが、その中の15種類に発がん性があります。発がん性HPVは性交渉によって感染するのですが、9割以上は一過性の感染で子宮頸部からウイルスは消失します。消失しても繰り返し感染します。一部の人に持続感染がおり、最終的に1,000人に1～2人が子宮頸がんを発症すると考えられています。

HPV ワクチン

現在のHPVワクチンは、発がん性ウイルスの中でも特に頻度が高いHPVの16型と18型に対応するワクチンです。日本人の子宮頸がんの約6～7割にこの2種類のウイルスが検出されています。HPVワクチンは発がん性HPVの持続感染を防ぐことで、10～20年先の子宮頸がんの発症を防ぐという重要な意味があるのです。HPVは人の皮膚や粘膜面に広く分布するので、子宮頸がん発症予防の効果はワクチンと検診以外には期待できません。ワクチン効果の持続期間については20年近くと予想されていますが、検討の過程であり、追加接種が必要になる可能性もありますので、今後の情報に留意してください。

接種対象と接種回数

接種対象は10歳以上の女性です。性交渉での感染前に接種する方が有効なので、日本産婦人科学会等は、第一の接種推奨対象を11～14歳の女兒、第二の接種推奨対象を15～45歳の女性としています。既に性交渉で感染したことがある方に対しても、今後の感染予防の効果が期待できます。

接種は筋肉注射で3回の接種が必要です。（1回目の後、1ヵ月後と6ヵ月後の合計3回）



接種費用

輸入ワクチンで、現在日本では任意接種となっています。がん対策の観点からは、全額公費負担の制度になるべきだと考えますが、残念なことに非常に高額な費用がかかります。

当院では、

組合員 14,000 円

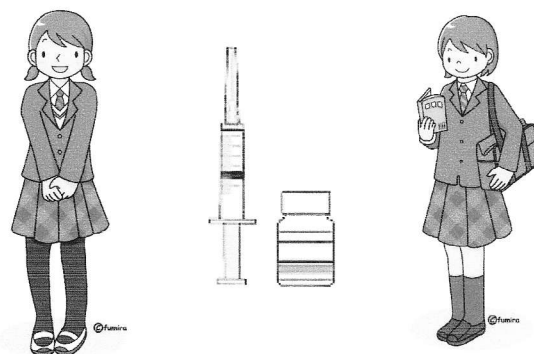
非組合員 15,000 円 となっています。

大切な女性特有がん検診

現行の HPV ワクチンは、16 型・18 型の 2 価ワクチンですので、すべての発がん性 HPV に対応するわけではありません。ワクチン接種後も 20 歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受診することが必要です。当院では、健診課で子宮ガン検診を行なっております。

生協病院での実施方法

- ①予約が必要です。10 歳代の方は小児科外来で、成人の方は内科外来で予約をとって下さい。
- ②電話で予約する場合は、代表電話（089-976-7001）で、「子宮頸がんワクチンの予約の件で」とお申し出ください。10 歳代の方は小児科外来へ、成人の方は内科外来へ取り次いでもらって下さい。
電話予約は、月曜日～土曜日の各科の診療時間内です。
お名前、年齢、生年月日、連絡先電話番号をお知らせください。
- ③ワクチン接種に来院されたら
初診の方は総合受付で受付して下さい。再診の方は、再来受付機で受付して下さい。
10 歳代の方は小児科外来で、成人の方は内科外来で接種します。
各科受付で「子宮頸がんワクチン」の接種に来たとお伝えください。
体温を測定し、説明書をお読み頂き、予診票に必要事項を記入して頂きます。
説明書は、「お子様と保護者の方へ」「成人女性の方へ」と 2 種類あります。よくお読み頂くようお願い致します。
- ④医師の間診と診察があり、ワクチンの注射があります。注射は上腕三角筋部への筋肉注射です。
- ⑤次回の接種日程についても、相談させて頂きます。
- ⑥接種後はすぐに帰宅せず、少なくとも 30 分間は院内で安静にして経過を見てください。
接種当日の入浴は問題ありません。
接種後 24 時間は、激しい運動は控えるようにしてください。



(2010. 6. 1)